

仕組まれた 2016 米大統領選挙：なぜ、誰がやった？

“隠れた手” が自ら明かす 2016 米選挙の謎

【訳者注】米大統領選挙は、常に影の権力者によって操作され、候補者も選挙民も巧妙に操られている。米大統領の仕事も決められていて、NWO の手先として働くようになっているのだという。我々はオバマやブッシュについては、そうに違いはないと考えていた。しかしトランプ大統領が生まれたとき、初めてそうでない政権ができたのだと思った。それは大きな考え違いだった。それどころか、「彼ら」にとってトランプは、これまでにない逸材で、しかもそれは最初から見抜かれていたものだという。どんな大統領でも権力などというものは持たない。「彼ら」の方針に従って侵略する権力は持つだろう。米合衆国とは NWO の軍事本部なのだという説明を聞けば、すべて合点がいく。米大統領はその総司令官で、自らの本分に背く自由はなく、戦争立国アメリカは、平和という選択肢をもたないのである。

SOTN (State of the Nation)

April 27, 2017

保守右翼は信ずることを拒否し、Alt Right (代替右翼) はしぶしぶ認めるであらう、隠された裏の話



2016 大統領選挙サイクル年のような選挙戦シーズンは、これまでになく、これからも決してないだろう。

この事実を知って初めて多くの人々は訊ねるだろう——なぜ、アメリカ人は昨年、米国史上、最もキチガイじみて呆れた選挙を、経験したのだろうか？

次の言葉は、フランクリン・D・ルーズベルトが非常に冷静なときに述べたもので、教訓として

貴重なものである：——

政治においては、偶然に起こることは何もない。もしそれが起こったとしても、それはそのように計画されたと考えて間違いない。

この政治的現実を考えれば、この言葉が現在も働いており、かつて以上に働いていると考えるべきあらゆる理由がある。

世界の影の政府が、トランプが大統領になるように決めた

しかしなぜ？

なぜ時の権力（The Powers That Be）は、2016年の選挙運動シーズンに、ブッシュ政治王朝を屈辱的に引きずりおろした後で、クリントン犯罪家族を嘲笑的に廃棄することに決めたのか？ オバマの遺産すら、盗聴ゲイト、Eメールゲイト、シリアゲイトによって、回復できないほど傷つけられ、そのすべては The Donald（ドナルド党）によって大きくばらされてしまった。

その上、トランプ候補は、劇薬ほどに正確な“フェイク・ニュース”というラベルによって、主流メディアの信用を、永遠にぶち壊すことを許された。彼はまた、共和党体制と、ソロス・ハイジャック民主党の両方に、解体用鉄球を振るった。それらがともに、アメリカ人民の役には立たない、完全に詐欺的な制度であることを暴露することによって、彼は完全に両政党のブランドをぶち壊した。

簡単に言えば、この種の深く広く浸透する政治的破壊は、意図的な計画によるのでなければ起こらない。グローバル政治体制（世界の影の政府）の“隠れた手”によってそれが故意に与えられたのでなければ、どんな候補者であろうと、どうしてそのような公然と支えられた、メディアという場所を手に入れることができるだろうか？ 結局、“時の権力”が主流メディア全体を所有し、運営しているのである。それが“そのように計画する”以外に、どんなことも、夕方のニュースや新聞の一面に出てくることはない。

誰がトランプ vs. クリントン “千年紀政治ヘビー級マッチ” のスポンサーか？

この質問に答えは一つしかない。その答えが、トランプ選出の背後にあった真の目的を明らかにする。ついでながら最近の、トランプの対外政策の非常に根本的な転換は、計画者の本音が出すぎた。この転換は、あからさまにイスラエルの、特に“拡大イスラエル”計画の推進のためである。次を参照されたい：——

「イスラエルのジャレド・クシュナー家が、いまトランプ政府を、NWO グローバリストのために運営している」 <http://stateofthenation2012.com/?p=71449>

トランプが現在、世界的な独占企業重役室で取っているすべての動きは、あらゆる彼のスタッフを送り込んでいる、シオニスト・ネオコン陰謀団によって指令されている。上の論文が明らかにしているように、娘婿のジャレド・クシュナー（NWO グローバリストのフロントマン）が実際は、シオニスト・イスラエルのために、ショーの全体を取り仕切っているのであって、トランプは単に大統領芸人をやっているにすぎない。

いま明らかなことは、クシュナーとその妻イヴァンカは共に、グローバリスト陰謀団の命令で活動しているのであって、現実には後者がこれから先は命令する。この夫妻はずっとニューヨーク市のリベラルな民主党員であり、トランプ大統領職の協力（実は乗っ取り）ができるというのに、なぜ政治的鞍替えをする必要があるだろう？ そして現にそうしてきた！

分割して統治せよ

しかし、2015/2016 選挙運動期間中に起こった、あるもっと大きなことがある。“分割して統治する” 選挙プロセス全体をコントロールする権力者は、完全に意図的にかつ巧妙に、2人の米歴史上最も憎まれた大統領候補を選び出した。実は、市民（と非市民）が 2016 選挙日に投票をした最も重要なただ一つの理由は、反対する候補者が負けるようにということだった。両側の前例のない敵意があまりにもすさまじく、選挙後の後遺症が、大きな結果を伴って今日まで残っており、今後も残り続けるであろう。

本当のところ、なぜ“時の権力”はそんなことをしたのか？

それは彼らが、国家を、筋道立てて戦争へ駆り立て、しかも国内と海外の両方の大戦争へ導こうとしているからである。彼らはまた、2007 年と 2008 年にそれぞれ起こったような、もう一つの不動産と株式市場の崩壊、それに年金の崩壊に対し、アメリカを準備させようとしているからである。全体として、これらの綿密に操作された出来事は、非常に広範囲な金融的難局をもたらし、地球的な経済不況が後からやってくるだろう。しかしこれは、NWO 計画が“一世界政府”の実現に向かう、より大きな危機的局面への準備段階にすぎない。

「現在のシオニスト・アングロ - アメリカン帝国も、[昔の帝国と] 何ら変わりはない。ただ今日のグローバル経済 - 金融システムの不換通貨は、担保を全くもたない。このような図体が大きすぎて維持できない苦境は、全く前例のない破産手続きを通じて、このシステムの統制された解体作業を必要なものになっている。それこそが本質的に、ギャング

銀行家たちが **The Trump** (トランプ党) を選んだ理由である——彼はよく知られた、経験ある破産芸術家なのだ。(ソース:「トランプ: NWO 陰謀団の核の選択——アメリカ有限会社の破産宣告」 <http://stateofthenation2012.com/?p=37500>)」

これをしっかり読んでください: ——

ロシアが選挙をハッキングしたという、今行われている一連の主流メディア・フェイクニュースは、プーチンのロシアに対する左翼の憎しみを固定化した。民主党員一般はすでに、オバマ、クリントン、ソロスやその一統が戦闘的に推進する、完全に墮落した **LGTB** アジェンダに対する、クレムリンの強力なスタンスを、忌み嫌っていた。ロシアがヒラリー敗北の原因だったという虚偽の非難は、ますます左翼の理不尽な憎しみと敵意を激しくした。アメリカ選挙民の多くの左翼を、このねつ造された敵意の中に囲い込むことによって、権力は今、計画したロシアとの戦争に一歩近づいた。「何が本当に、フェイク・反露ヒステリーの背後にあるのか？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=68902>

この米2大政党制と呼ばれる偽コインの反対側を操作するには、権力は、右翼を散らばらせて、“トランプ列車”のいろんな貨物車両に乗せる必要があった。メキシコ国境壁、ムスリムの禁止、オバマケアの取り消し、不法移民、海外戦争の中止(シリア、イラク、アフガニスタン)、イラン取引、貿易合意(**NAFTA**、**TTIP**)、それに税カットなど、トランプの強みの立場のそれぞれが、右翼の主要な投票ブロックの要望または要求に訴えた。沢山の選挙公約を通じて彼らを同じ檻にくくり、トランプ列車のいろんな貨物車両につめることによって、特に **Alt Right** (代替右翼) と言われる者たちが、別の日のために、苦勞して取っておかれた。どうしてそんなことができたか？

アメリカの投票者は一般に、本音は **NIMBY** (施設の建設は認めるがわが家の裏はごめん主義) なので、大多数が実は、海外戦争が彼らの名前と税金で行われることに反対しない。特に、彼らの最も緊急の政治的関心事が、ひそかに面倒をもらえるなら、多くの右翼の者は、トランプの向こう見ずな戦争行為を、支持しないまでも反対することはないと、権力は知っている。しかし、この政治的見返りのコンテキストにおいて、トランプは、**Alt Right** の決定的な支持を失わないためには、彼の多くの公約を——十分に——果たさなければならない。今、トランプの欺瞞を見抜き、激怒して声を発している **Alt Right** の“真実探究者”たちの運動が起こり始めているからだ。

「危険な展開: 徐々に増すアメリカの軍国主義が、トランプのシリアへの宣戦布告なき戦争によって加速される」 <http://stateofthenation2012.com/?p=71778>

トランプを操縦する者たちによる、これらのきわめてシニカルな動きと策動は、左翼と右翼

の両方に、ロシアに対する侵略戦争を、支持させようと狙っている。このような見え透いて不法な、仕組まれた戦争は、第3次大戦の熱い局面の引き金を引く前の、序曲にすぎない。ひそかなシオニスト陰謀団が、第二次大戦中に、ドイツをロシアに対して嫉けたように、同じ国際的ギャング銀行家の一族が、アメリカとその同盟国を使って、ロシアの大地の征服をリプレーしようとしている。

ネオコンたちは、この戦争計画が、伝統的にキリスト教的な、保守的で、愛国主義的な、アメリカの政治的要素を背後にもたなければ、達成できないことを知っている。ここでこそ、スーパー・セールスマン、ドナルド・トランプの出番となるのである。知ってか知らずか、彼は、もう一つの正義なき戦争を遂行する大義に、右翼を動員するために使われている。それは究極的に終末的世界戦争であり、血と財宝が無意味に浪費されるだろう。にもかかわらず、いまだに多くの右翼人士が、トランプの暴力的な戦争売りつけと許されない裏切り行為を正当化する、罫にはまっているのである。

不幸なプーチンのロシア

そこで、総司令官トランプが、グローバルな地政学的チェス盤上で、ネオコンのチェッカーズ・ゲームを試みている間に、ウラジミール・プーチン大統領は、クレムリンの5Dチェスをさしている。実は、トランプ・チームが、彼らのシオニスト・ネオコン・スポンサーのために、チェッカーズの一手をさす度に、それは直ちにキャンセルされるか、モスクワの最高のチェス名人によって、逆手に取られている。ロシア軍はすでに、シオニストの“拡大イスラエル”計画を、シリアで一度、吹き飛ばしたことがあり、もう一度それを最終的にやる用意が十分にある。参考：「プーチンのロシアが“拡大イスラエル”計略を吹き飛ばす」
<http://stateofthenation2012.com/?p=23524>

ロシアは、高性能の対空防衛兵器と電子戦争システムを、シリア全土に配備しており、これは4月6日、シリアに向かって不法に発射された、アメリカのトマホーク・ミサイルの(59本のうちの)37本を、彼らが無力化したことで知られている。ロシアは決して、シリア第2の港Tartusの地中海海軍基地を空けたりしないだけでなく、Khmeimim空軍基地をかなり強化した。したがってプーチンのロシアは、現在のバシール・アル・アサド大統領のシリア政府に、完全に肩入れしていることを明らかにしている。

「Khibiny電子戦争システム：ロシアは、全米海軍を無力化できる“スーパー兵器”を採用している」
<http://themillenniumreport.com/2017/04/khibiny-electronic-warfare-system-russia-employs-super-weapon-to-neutralize-entire-u-s-navy/>

ロシア（と中国）のリーダーたちは、誰がトランプをホワイトハウスに入れたかを、正確に知っている。一般にロシア人は、人々を許す一方で、長く忘れない民族である。だから彼らは、1917年のボルシェビキ革命を資金・財政援助した、同じギャング銀行家の種族が、ロシアとその BRICS 同盟国に対する、トランプの軍国主義的脅迫芝居の、張本人でもあることを熟知している。彼らはまた、彼が米大統領に選ばれたのは、第一に、彼のお山の大将的な、子供じみたショーマンシップのためであることも知っている。おそらくそれが、権力者が彼を The Apprentice に出演させて、彼の疑わしい政務上のスキルを、ホワイトハウスの予備訓練として学ばせた理由である。プーチンやその仲間、そうしたことすべてを見ており聞いている。特にアメリカ政府の二枚舌や騙しについてはすべて知っている。

「トランプゲドン：アメリカのシリアに対するミサイル攻撃の背後の、真の裏話」

<http://stateofthenation2012.com/?p=70849>

政治的 2 極シンドローム

どうしてそれができたのか？ どうやって彼らはアメリカ人民に対し、もう一つのインチキ選挙をやったのけることができたのか？

権力は単に、選挙運動シーズンの度ごとに、彼らが簡単に利用できるものを利用してきすぎない。すなわち、彼らは選挙民の基本的な欲望や感情に訴えた。オバマの 8 年に及ぶ破局的な年月の後で、有権者たちは変化を求めた。政治的期間のもう一つの長い、悲惨なブッシュの 8 年の後でもそうだった。振り子は常に、後に続く大統領選挙の度ごとに、反対方向へ更に遠く故意に押しやられた。トランプがうまく勝利を得たのは、オバマにつながるすべてに対する完全にネガティブな反応であり、特に、ヒラリー・クリントンの裸の犯罪経歴に対するものだった。

この政治体制が、あまりにも絶望的に欺瞞中毒にかかっているのです、彼らは 4 年ごとに、政治的な一方の極から他方の極へと組織的に揺れ動くことがある。次の選挙がやってくるごとに、“隠れた手” は、振り子をより遠く右へ、次にはより遠く左へと動かしている。オバマは明らかに、左への極端な揺れを代表し、トランプは右への極端な揺れである。もちろんトランプが現実は何をするかは、その時までわからない。しかし彼の対外政策はすでに、ネオコンの戦争推進派の方へ完全な右翼路線を取っている。明らかに、シオニスト・ネオコンは、トランプ政権を乗っ取っている。強化される戦争売りつけがそれを反映している。

結論

結論として強調すべきことは、アメリカの大統領選挙は、選ばれた候補者が確実にホワイトハウスに収まるように——常に——仕組まれているということである。彼らは、深層国家が計画し、軍-産複合企業が実行する戦争に関して、彼らの主人たちに柔順に従うことを証明してきた。この“大統領の義務”は、USAが New World Order の軍事部門になって以来、米大統領の断然、最優先の責任になっている。結局のところ、アメリカ大統領は、ワシントンの目には、第一に総司令官であり、大統領や政治家としては 2 番目、3 番目なのである。
<http://stateofthenation2012.com/?p=6115>

トランプ大統領は、この軍 - 産複合企業の役者、深層国家の要員という役柄に、ぴったり合っている。彼は、イスラエルのために、躊躇することも後悔することもなく、戦争を行う決意を示している。トランプがこれまでに示した重要な対外政策のすべての意思決定は、どういふわけか“拡大イスラエル”計画を推進するものになっている。彼の就任後の 100 日間は、いま彼が、完全に忠実なイスラエル第一主義者として政治を行うという約束を、証明するものとなっている。中には、ドナルド・J・トランプの就任とともに、国家がその最初のユダヤ人大統領を選んだのだと言う人たちさえある。「トランプは最初のユダヤ人米大統領か？」 <http://stateofthenation2012.com/?p=71575>

——以上